

I 実践ゴムのFEM粘弾性解析用材料データ定義、解析への展開、疲労寿命予測まで

1. ゴムのひずみエネルギー密度関数について、二軸伸張試験から回帰定義：超弾性の基本
2. ゴムの粘弾性解析
 - 1) 粘弾性解析でできること
 - 2) 粘弾性データの測定から定義方法
二ノ宮式から粘弾性マスターカーブ、解析用係数算出方法
粘弾性係数を付加するだけでは使えないデータ調整法と実用面化説明
 - 3) 動解析-固有値解析から振動（過渡応答）解析
固有値解析に無効化される対応策や動解析での予測精度向上と見方
 - 4) 緩和の表現、応力緩和から老化劣化までの推定方法
緩和から変形量増加、数年後をどのように予測する方法
3. 熱的解析：ゴムの解析の基本に戻り
 - 1) 金型設計への応用 2) 加硫最適化、熱伝導解析
 - 3) ゴムの特性予測へも影響する
4. 防振ゴムを中心とした疲労寿命、ベンチ耐久性の予測方法
耐久性、疲労性寿命予測まで実践を踏まえた展開方法の説明

随時 & 最後に質疑